

暑中御見舞
大日本商事正行社
湯本驛前鈴木木屋自動車部
電話五十七番

磐城自治新報

昭和三年八月十五日發行

磐城自治新報

第三號

(一)

忠君愛國論の嚴正批判(二)

新しい日本の經營には幾多の事である。徳川三百年の困難を伴つた、而も維新治世は太平が續いた人心は成就した人々は少しも撓緩んだ、凡ての階級は享樂を成せず、明治天皇を中を逐ふて官能本位の樂みに心として紋々々々新國家の耽つた物質慾は極むれば極再建に盡し、終りに日本をむる程の深きに隔り全くと「世界列強に並馳せし正比例して精神を餓急しむるに至らしめた」

顧るに 明治維新は實に目を要せぬ徳川の末世には人覺しい且つ世界を驚倒させ 心期せずして變を求め、精神的大膽に我先輩たる時代人がを忘れて享樂を逐ふ人々の大膽に而も周到に且つ眞面目の底には一つの力強い潜在に自己を凝視して創造を勢力として存在して居た。企てたか我々後の時代人 明治維新の大業の完成は此として缺點に堪えぬ所であらう

而も世人は何故に此大藝術皇の出現によつて王政復古て不如意常に之を悲しむか巧みに違算なく運ばれたてふ光明陸離なる大旗を仰かといふ事については明治望し一つの靈感的衝動によつて天皇の御果斷を擧げ、國中つて期せずして億兆一心の雄藩の協力を數へ義を觀團結を見たのである。國の壓迫を因とするとなすのが常である。これ等は固より皆重要な原因であるが、而も尙一つ多く史家の見逃して居るゐなかつた、舊型の政治家四寸長六寸許爾來境を改賢人は唯一の目標を持つて原因がある、夫れはこの時な依然明治時代の大旗を僅めて菊田郡酒井の庄と名つ居る其目標といふのは人生代には日本は民族全体としかに色を代へて國民にこのく、母を菊田御前孝子を若て大きな煩悶に達着してゐ下に集れと叫んでゐた、日宮八幡と奉祝す、若宮八幡自分より善き者が考へられ

發行日一日十五日(毎月二回)
編輯印刷 箱崎義一
兼發行人 箱崎義一
福島縣石城郡湯本町
天王崎四番地
磐城自治新報社
發行所 電話四〇番
紙代 一部十錢送料共
廣告料五號十二字詰一行金五
十錢場所指定金壹圓

偶言

◇ 友に與ふ
變らぬ水と石との心もて
萬代までも契結ばん
◇ 述懐
玉の緒の絶えなばたへね
丈夫の
たてし心の末は變らし

勿來町

口碑傳説
養老年中境に孝子あり老母酒を嗜む然れども家貧にして不如意常に之を悲しむ一日宅後に井を掘りしに清水湧出して香酒に似たり即ち之を口にすれば醇酒なり依て之を汲み取り母にす、を愛ふ事勿れ己の努力の足らざるを恐れよ

愛生堂

比佐倉之助
荒物雜貨各種
佐藤徳兵衛
湯本町
鎌の湯鑛泉
若松忠一
平町新田町
御料理松の壽し
仕出し
松本繁次郎

安心して買へる
菅波藥店
菅波正夫
立國自治會
創道助教
大内喜美
白鳥鑛泉組合
湯本驛ヨリ一里
自動車人力車ノ便アリ
春木屋
喜樂屋
吉田屋
銘清御代一番
釀造元
御代武兵衛
磐崎村
客間増築
親切勉強
温泉
浴場
古瀧
里見小八郎
湯本町
日本セメント製
東洋瓦工業販賣
渡邊熊藏
常磐線四ツ倉
植田町
好間村
吉田定正
好間村
林孫四郎
好間村堅坑雜貨店

片岡醫院
植田町
電話一〇七番
小柳
植田町藝妓屋
湯本町
長瀬徳太郎
湯本町
楠正隆
湯本驛
伊東清
湯本驛
自轉車業
矢内林之助
湯本町
好間村
吉田定正
好間村
林孫四郎
好間村堅坑雜貨店

神保菊太郎
内郷村
宮下秀貫
内郷村
島田醫院
内郷村役場
野木亀之助
村長
助役金澤為喜
書記田口淳淳三
温泉旅館
松柏館
山形屋
常陸館
大瀧館
昭和館
備中屋
勇屋
佐野屋

藤原炭坑
神保菊太郎
内郷村
宮下秀貫
内郷村
島田醫院
内郷村役場
野木亀之助
村長
助役金澤為喜
書記田口淳淳三
温泉旅館
松柏館
山形屋
常陸館
大瀧館
昭和館
備中屋
勇屋
佐野屋

所感

高木 默堂

吾々は吾々の尊嚴と榮譽とを汚濁してはならぬ、そこを以て其の自然の律理に...

合理化所感

鯨 岡賢

近頃頻りに何々合理化といふ今日に於てハ其智其能益衡ニ...

狩螢

磐崎村 素朴
雨歌鳴蛙滿池塘
垂柳風裏又清涼

各種肥料
大和屋商店
小泉 菊彌

誠實勉強
岩瀬屋藥店
店主 青木 元次

佐藤履物店
店主 佐藤 定觀

小野精米所
小野 健之助

榎田材木店
榎田 義美

小笹商店
セニイ卸商

仲ノ屋商店
小野 利彌

松本精米所
松本 正夫

國井精米所
國井 貢

立花精米所

千葉精米所

比佐精米所
比佐 金太

比佐精米所
比佐 左造

入山探炭株式會社
立國 勞働自治會

入山探炭株式會社
鑛夫組長 鬼澤 八郎

高橋 勇五郎

宮本 利一

西原 末吉

野村 貞吉

川石 久寅

三井炭坑株式會社
湯本鑛業所

佐藤 清三郎

鈴木 市助

三宅 富助

古河好間鑛業所
港谷 定次郎

矢野 貞一

梁瀨 貞雄

宗像 泰壽

北郷 利器造

五十嵐 清

入山探炭株式會社
小野炭坑鑛業所

吉野 邊人

山吉 四郎

小野 吉四郎

熊谷 武庸

鈴木 次郎

川口 幸太郎

篠原 末吉

松永 忍海

野崎 茂敏

安藤 金吾

佐藤 仁潔

遠藤 仁潔

河田 信一

高沼 忠一

柳沼 忠一

小野炭坑鑛業所

暑中御見舞

平町 尼子自動車部

湯本驛前

高岡自動車部

電話六四〇番

炭坑視察に

仙臺礦山監督局で

各種礦山中操業の危険率最す告所せんといきまき居れも甚だしいのは炭礦業で毎...

立労働自治會

入山採炭株式會社従業員より成る立労働自治會は左記綱領に賛成したる十五才以上の男女を問はず者...

小田炭坑總會

石城郡好間村小田炭礦株主總會は去月廿八日午前十時から同坑事務所開會營業報告損益計算書其他を承認...

何のための悪宣傳ぞ?

石城郡磐崎村藤原三井炭坑には鈴木、佐藤、三宅の朝鮮飯場あり數百の鮮人を使役し成果を得つゝあるに何...

は會員及家族慰安のため海水浴無料休憩所を小名濱に設けた公休日には港内の遊覽も出来る。磐城軌道會社は四割引

指定場所 小名濱海岸 小名屋バラック 菊の湯バラック

常磐炭坑長會

山神祭は四月十五日、常磐炭坑の所長會は此程湯本町に開催問題となつてゐた各炭坑の貯炭亂賣には殆んど解せず炭坑の年中行事である山神祭は今後櫻花期の四月十五日に行ふことに決定した。

無料脱衣場

入山炭坑では従業員慰安のため小名濱海岸に無料脱衣場を設けた。

炭坑安全標語

内郷村磐城炭坑では従業員の中から安全標語を懸賞募集中であつたが入賞者左の如し

一等 心と安全燈は明く持ちな 小沼常五郎

植田消防組頭 坂本龜太郎君

君は立志傳中の入山炭坑に於ては現に消防組頭として活躍振りに敬意を表する最近功を以て本縣知事より表彰せらる。

希望の一端

吾々の使命を

植田町

吾々消防組員は人類の生命財産の保護を双肩に荷ふて居る團體であります故に社會の生活を保安し人類生存の幸福を維持する上に於て災害を排除し救済しよう護せなければなりません世間幾多の團體ありと雖嚴格なる制度に拘束せらるゝ軍隊を除くの外敢て制裁なくしを亂れざる態度の規律訓練を維持し義侠に富み殉難を辞せずして突進する團體を消防組以外に殆んどなし

断言する事が出来様と思ひます故に職を消防に奉ずるものゝ要諦は機械器具の操縦も規律訓練の堪能も素より必要なる條件と思ひます

吾々消防は時弊の外に特立折衷へられた氏の抱負と希望とである。

秋山市造氏

君は植田町の木材商を以て知られ醸造業を営み専心

折衷へられた氏の抱負と希望とである。

赤津修一氏

君は勿來町少壯實業家として知られ醸造業を営み専心

折衷へられた氏の抱負と希望とである。

赤津修一氏

君は勿來町少壯實業家として知られ醸造業を営み専心

を率へ之を導き所謂心火の鎮滅に盡さなければならぬのである、之はたゞに自治の精神に外ならぬものあり

命を全ふせられんことを望む次第であります。

本馬勘太郎

新地

新地

新地

新地

新地

新地

新地

新地

新地

新地

新地

新地

新地

新地

共同主義の金融機關

僅かの掛金でまごまる資金

御大典新會員大募集

今秋の御大典の記念事業 貴下の家庭にお奨めする

貯金にも融通にも有利な

無盡の中で一番よい湯本式

大ぜ不景氣ですか?

それはアラユル金融機關が、地方の金を集めて、

廻りが悪くなるからです。

民衆の金は民衆へ

地方の金は地方で融通したい、地方の金まはり

よくして不景氣の風をお拂ひたい。不景氣の追

拂ひ役は、ゼヒ湯本無盡につとめさせて下さい。

絶好の記念事業

町でも村でも個人でも、今秋の御大典記念したい

と思ふことは國民の情であります。貴下の家庭で

は何をお運びになりますか。

不景氣の追拂ひ策

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中

央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にする

ものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ

御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

湯本無盡は、貯蓄にも融通にも有利である上、中央集金の弊を打破して、地方の金融を潤澤にするものであります。御大典記念にはゼヒ湯本無盡へ御加入下さい。

菊地萬平

岡部興美

岡部信太郎

國井那房

山本春藏

湯本町

小野武平

湯本町

湯本町

小野八太郎

湯本町

湯本町

大友丑松

湯本町

湯本町

滿玉樓

湯本町

湯本町

新地

湯本町

湯本町

本馬勘太郎

湯本町

湯本町

新地

湯本町

湯本町

新地

湯本町

湯本町

新地

湯本町

湯本町

新地

湯本町

湯本町

